

韓国岳登山

趣 旨 古くから神話や山岳信仰の場として知られ、約7千年前の水蒸気爆発で作られた爆裂火口が特徴的な韓国岳(1,700m)登山をとおして、自然のすばらしさや美しさ、厳しさを感じるとともに、参加者同士の心のふれあいを深め、自然に対する畏敬の念を育てる機会とする。

日程例

09:00	霧島自然ふれあいセンター発	※ 荒天時は、えびのエコミュージアムセンター
09:30	えびの高原駐車場着(トイレ)	やビジターセンター等の近隣施設の見学も可能
09:40	えびの高原駐車場発	
10:00	韓国岳登山口	
11:10	韓国岳山頂着	※ 令和7年4月1日現在、エコミュージアムセンター駐車場横の登山口より登山
11:20	昼食	
12:00	韓国岳山頂発	
13:00	韓国岳登山口	
13:30	えびの高原駐車場着(えびのエコミュージアムセンター及び周辺の見学等)	
14:30	えびの高原発	
15:00	霧島自然ふれあいセンター着	

連 絡 荒天時の計画、登山開始時及び終了時・緊急事態発生時に連絡

危険箇所 3合目付近から6合目付近までは、ルート上の落石に注意。8合目付近から設置してあるロープや柵を越えない。頂上付近の岩場からの転落注意。

無線交信可能地点
登山口付近と5合目以上は交信可能。

留意事項

- (1) 引率指導者の指示を守る。
- (2) 常に班で行動し、単独行動をしない。
- (3) 体力に応じたペースで歩行し、適宜休憩をとる。
- (4) 危険区域及び火口壁に近づかない。
- (5) 落石に注意する。
- (6) 緊急事態が発生したら、直ちに近くの引率指導者に連絡する。
- (7) 自然を大切にする。
- (8) ゴミはすべて持ち帰る。

季節による見所等

<眺望、観察ポイント>

- ・ 5合目地点からのえびの高原・甑岳・えびの市方向の眺望。5合目以上に群生するミヤコザサやミヤマキリシマ。
- ・ 頂上からの大浪池、獅子戸岳、新燃岳、高千穂峰、錦江湾に浮かぶ桜島、開聞岳、高隈山系、紫尾山系、宮崎県側の九州山地等の眺望。

春：新緑、花(ヤマヤナギ、ハルリンドウ、キリシマミズキ、ヒカゲツツジ、シロモジ、カナグキノキ、キリシマミツバツツジ、ミヤマキリシマ、ニガイチゴ等) 野鳥(エナガ、ウグイス等)

夏：花(シロドウダン、ベニドウダン、ニシキウツギ、ヤマボウシ、ネジキ、コバノグロツル、ノリウツギ等)、野鳥(ホトトギス・カッコウ等)

秋：紅葉、えびの高原のススキ 花(キリシマノガリヤス、フクオウソウ、ツクシゼリ等)

冬：霧氷・樹氷、雪景色

歴史等 霧島連山の最高峰(1,700m)の韓国岳は、約3万年前の火山活動により隆起し、約1万7千年前の噴火で現在の山容が形成された。約7千年前の水蒸気爆発により北西部の火口縁が大きく欠けており、その跡は、爆裂火口と呼ばれている。

韓国岳麓の硫黄山は、霧島連山で最も新しい火山で、昭和37年まで硫黄の採掘が行われた。最盛期には、毎月150トンもの硫黄が生産され、硫酸やマッチの製造に利用されていた。

韓国岳コース



エコミュージアムセンター



韓国岳登山口



つつじヶ丘散策路付近



5合目



山頂